

区分	☒ 新規 ☐ 再提案 （ ・ ・ 第 回総会； 市）		
種類	☒ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）		分野 ☐ 総務文教 ☒ 社会環境 ☐ 経済 ☐ 危機管理建設
要望先	☒ 国	担当省庁	厚生労働省
	☐ 県	担当部局課室	健康福祉部 医療政策課
	☐ その他	名 称	
件名	公立病院・公的病院における電子カルテの更改等に係る財政支援の拡充について		
提案市	飯山市		
提案要旨	国の「医療DXの推進に関する工程表」で医療機関における電子カルテ普及に関する政府目標が掲げられているが、医療DXに係る費用については国等の補助制度はあるものの、システム自体の更改等は医療機関が費用負担しなければならない現状である。このことから公立病院・公的病院などの経営が厳しい医療機関にとっては、国が示す医療DXの基盤となる電子カルテそのものを維持していくための負担が重く、それによる経営悪化も懸念されることから、政府目標達成のためにも電子カルテ更改等に対する国による財政支援の拡充を要望する。		
提案理由	国（医療DX推進本部）は「医療DXの推進に関する工程表」の中で「遅くとも2030年には概ねすべての医療機関において必要な患者の医療情報を共有するための電子カルテの導入を目指す」との目標を示したが、そもそも従前の機能維持だけを目的とした更改であってもその費用は高額で財政基盤が弱い医療機関にとって大きな財政負担となっていることから、地元自治体に更なる財政支援を求めている。しかし、当市及び近隣自治体では毎年１億円を超える補助を行っており今以上の財政負担増は困難な状況にあることから、国による支援拡充を求めるものである。		
現況及び課題等	地元の中核病院側の資料によると今回の更改費用は約５億円（うち補助１,０００万円）とされており、これ以外にもCTやMRI、人工透析装置などの高額な医療機器の更新時期も迎えている。地域中核病院の機能を維持していく上でこれらの整備は必要不可欠なものであるが、昨今の物価高騰の影響もあって市町村の支援だけでは十分とは言えない状況にある。 <令和８年度（２０２６年度）公的病院への主な補助金 当市＋３村総額> ・公的病院運営費補助金（救急告示・夜間休日） ４,９８７万円 ・公的病院運営費補助金（不採算地区中核病院） ５,９３４万円 ・地域中核病院医療機器整備支援補助金 １,０００万円		
関係法令	医療法、高齢者の医療の確保に関する法律ほか		